

令和3年度 創造調和

令和3年9月21日
半田市立半田中学校
第9号
学校だより

🐰🐰🐰🐰🐰🐰🐰🐰🐰🐰 「わかる」にもいろいろありまして 🐰🐰🐰🐰🐰🐰🐰🐰🐰🐰

9月13日、将棋の藤井聡太二冠が、史上最年少で「三冠」を獲得しました。師匠である杉本昌隆八段は、オリンピックに例えると、長距離走、中距離走、ハードル走で金メダルを獲るようなものと、藤井新三冠の凄さを大きく称えていました。

それに対して、藤井聡太三冠は、「あまり実感がない。どこまで強くなれるかということが自分にとって一番大事なこと。最年少記録よりも常にそのことを意識して取り組んでいきたい。」と言っています。

私は、藤井さんの強さは、記録より、自分がどこまで強くなれるかにこだわって、努力し続けているところにあると思っています。見ている目標が周りとは違うのです。対局を終えた直後のインタビューでは、勝っても負けても、常に「課題が見つかったので、それを改善できるようにがんばります。」と応えており、自分が強くなるために、いかに最善を尽くすかを考えて取り組んでいます。見習いたいです。

さて、皆さんの日々の授業へのこだわりは、どうですか。

先生たちは、皆さんに「わかった!」「できた!」「楽しい!」といった感動や驚き、疑問といった刺激を提供し、学び続ける気持ちを育てようとしています。



「わかる」にもいろいろありまして、漢字で書くと、「分かる」「判る」「解る」の3つの表記があります。皆さんは、その言葉を知っていても（分かる）、その言葉にどんな事実があるのか（判る）、さらに、その言葉にどんな意味や価値があるのか（解る）、探究心をもって学んでいる人は少ないように思います。

例えば、デルタ株という言葉を知っていても、デルタ株によって日本（世界）がどんな状況になっているのか、さらに、デルタ株が従来株よりもなぜ感染力が強いのかを探究することで、もっと勉強はおもしろくなるし、楽しいものになると思います。

藤井さんの考えを少しでも参考にするなら、テストでよい点数をとることより、いかに自分がわからない問題をわかるようにするために最善を尽くすのが大切です。ぜひ、日々の授業の中で、「どうしたら〜だろうか?」と自分に問いかけながら、「分かる」より「判る」、「判る」より「解る」を目指して学んでいきたいですね。



心のエネルギーは、充電できていますか？

半田中学校には、「サポートルーム」という場所があります。
サポートルームを紹介します。



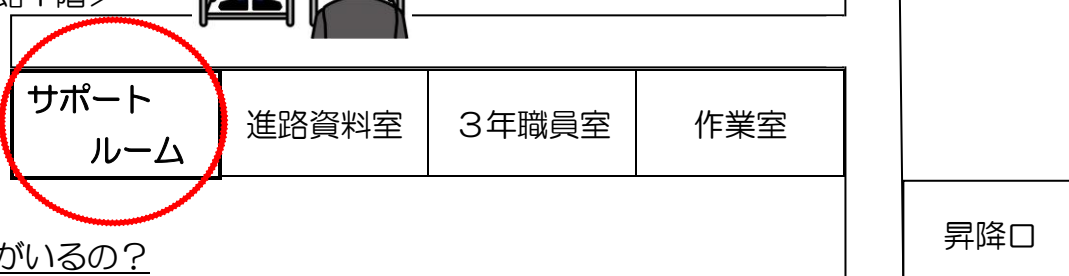
1 どんな場所？

生徒の皆さんの 心のエネルギーを充電 できるように、少し「いつも」から離れてみる場所です。



2 どこにあるの？

<中館1階>



3 どんな人がいるの？

監督の先生がいます。1時間交代で、いろいろな先生がサポートルームに来てくれます。
わからない課題があれば、教えてくれます。

4 どんなことをするの？

基本的には、1日の予定を自分で決めて、無理のないように、できることをやります。
1日中、サポートルームで過ごしてもよいし、1日おきにサポートルームを利用してもよいです。基本は教室ですが、つらくなったとき、苦しくなったときにサポートルームで過ごします。

5 どうやったら利用できるの？

サポートルームが気になる・・・という人は、担任の先生に相談して、実際に見学してみましよう。ここは、心の充電をして、がんばるためのエネルギーをためる場所です。

6 他に、心の充電ができる場所は？

学校には、「心の教室相談」や「スクールカウンセラー」、「通級指導教室」があります。また、学校外には、「フリースクール」「適応指導教室」(いずれも出席扱い)もあります。
基本的には、1日の予定を自分で決めて、やれることをやります。学校と併用して利用している人が多いです。午前中は学校に来て、午後からフリースクール等を利用する、月・水・金は学校に来て、火・木はフリースクール等を利用するといった利用の仕方もあります。気になる人は、担任の先生に相談してください。